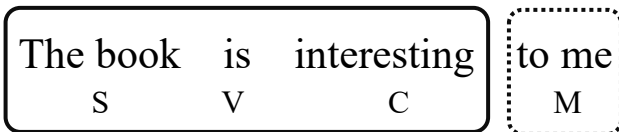
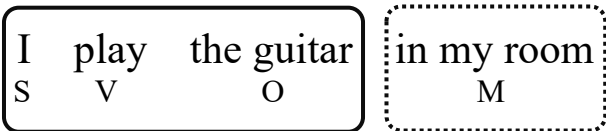


1-1 英文の構造と品詞

Point 1 英文の構造

英文の構造は実はシンプル。SVOC(文要素) + M(修飾語) で構成される。



- ・S(主語) : 動作の主体を表す語。
- ・V(動詞) : 動作や状態を表す語。文の述語になる。
- ・O(目的語) : 動作の対象(受け手)を表す語。
- ・C(補語) : 他の要素(主語・目的語)と対等関係にあることを表す語。
- ・M(修飾語) : 他の語句を詳しく説明する語。それ自体なくても文は成立する。

Point 2 品詞の役割

品詞とは“単語の種類”に基づく分類。上記の SVOCM は“文中での役割”に基づく分類。この関係性を正確に把握することが正しい英語理解の第一歩だ。代表的な品詞と役割の関係を以下で確認しよう。

- ・名詞 : S, O, C, 前置詞の O
- ・動詞 : V(述語)
- ・形容詞 : C, M(名詞を修飾)
- ・副詞 : M(名詞以外を修飾)
- ・前置詞 : 前置詞+名詞=M(形容詞・副詞両方の働き)

Point 3 英文は4つの品詞からできている!

英文の文中には名詞・動詞・形容詞・副詞の4つの品詞のカタマリしかない。以下の例で確認しよう。

【例文】

副 At the party,	名 those	形 belonging to the intelligence agency	動 were	副 very	形 surprised.
M	S	M	V	M	C

「パーティーにおいて、情報機関に属する人々はとても驚愕した」

【参考】

各カタマリ（句・節）の役割			
カタマリ	名詞	形容詞	副詞
前置詞＋名詞	—	○	○
不定詞	○	○	○
分詞	—	○	○
動名詞	○	—	—
接続詞	△※1	△※2	○
関係詞	△※3	○	△※3
疑問詞	○	—	—

※1 if, whether, that のみ

※2 同格節を導く that, 名詞限定の as のみ

※3 複合関係詞 (-ever) など

1-2 カタマリ

Point 4 語のカタマリ:句と節

英文中には、複数の語がまとまって、1つの品詞の働きをするカタマリを作ることがある。

・句: 2語以上のカタマリで SV を含まないもの

・節: 2語以上のカタマリで SV を含むもの

【例1】名詞

He admitted the suspicion. 名詞

He admitted having stolen the bag. 名詞句

He admitted that he had stolen the bag. 名詞節

【例2】形容詞

He wears a beautiful jacket. 形容詞

He wears a jacket made in Italy. 形容詞句

He wears the jacket which his wife bought in Italy. 形容詞節

【例3】副詞

He lived in Tokyo then. 副詞

He lived in Tokyo in his youth. 副詞句

He lived in Tokyo when he was young. 副詞節

Practice (東大・前期 2012)

以下の文を和訳せよ。

I've never felt, on the other hand, though a great many people who didn't grow up reading books have perhaps felt it, that writing is what those other, 'writerly' people do.

茂神式構造分析

主 語 動 詞 目的語 補...語 [名詞句・節] (形容詞 / 副詞句) {形容詞節 / 副詞節}

^名 to [Ⓥ] make [Ⓢ] him [Ⓢ] happy : 準動詞の用法と文型

I didn't want ^名 [to eat anything], {because I wasn't feeling well (yesterday)}.

S V O S V C

メインの文構造=緑

修飾語句=青

1-3 文型

Point 5 基本5文型

文要素(SVOC)の組み立て方は以下の5パターン。英文は、どんなに長い文でも、どんなに複雑な文でも骨組みはこれだけしかない。文中からこれらを見つける練習を繰り返し行おう。

第I文型: $\overset{\text{名}}{S} + \overset{\text{動}}{V}$ [主語 + 動詞]

Tom smiled.
S V

第II文型: $\overset{\text{名}}{S} + \overset{\text{動}}{V} + \overset{\text{名・形}}{C}$ [主語 + 動詞 + 補語]

The dog looked cute.
S V C

第III文型: $\overset{\text{名}}{S} + \overset{\text{動}}{V} + \overset{\text{名}}{O}$ [主語 + 動詞 + 目的語]

We solved the problem.
S V O

第IV文型: $\overset{\text{名}}{S} + \overset{\text{動}}{V} + \overset{\text{名}}{O_1} + \overset{\text{名}}{O_2}$ [主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語]

My father bought me a bicycle.
S V O₁ O₂

第V文型: $\overset{\text{名}}{S} + \overset{\text{動}}{V} + \overset{\text{名}}{O} + \overset{\text{名・形}}{C}$ [主語 + 動詞 + 目的語 + 補語]

The news made me sad.
S V O C

Tom forced me to study English.
S V O C

Point 6 文型と意味

各文型には意味の上での共通性がある。文型は動詞の語法と密接な関係があり、英語学習の基本である。

- ・第I文型 : 「SがVする」
- ・第II文型 : 「SはCだ(S=C)」
- ・第III文型 : 「SがOをVする」
- ・第IV文型 : 「SがO₁(人)にO₂(物)を与える・伝える」
- ・第V文型 : 「SがOをCにする、OがCであると認識する」